

headline

- ☑ 「食品ロス削減推進法」基本方針
- ☑ 「グリーンウェイブ 2019」
- ☑ 事業活動報告、SEF からのお知らせ



トピックス

「食品ロス削減推進法」基本方針策定に向けた議論がスタート

10月に施行された「食品ロス削減推進法」の基本方針策定に向けた、「食品ロス削減推進会議」の第1回会合が11月25日、都内で開催されました。

第1回会合には有識者のほか、推進会議の会長を務める衛藤内閣府特命担当大臣をはじめ、江藤農林水産大臣、小泉環境大臣ら閣僚も出席。衛藤氏は冒頭、食品ロス削減について「食品が作られる川上から消費に至るまでそれぞれの段階での取組みが必要。多様な主体が連携し、国民運動として食品ロスの削減を進めていけるよう、しっかりと基本方針を作り上げていきたい」と話しました。

この会合では、会議の運営に関する事項が確認されたのち、事務局から基本方針の骨子案が示され、有識者等との意見交換が行われました。骨子案では「食品ロスの削減の推進の意義及び基本的な方向」「食品ロスの削減の推進の内容に関する事項」「その他の食品ロスの削減に関する重要事項」の3つの柱が提示され、12月の第2回会合で素案を公表、2020年1月に意見募集を実施、同3月の閣議決定を目指すことが確認されました。

会合についての詳細は、消費者庁ホームページからご確認ください。

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/conference/11125.html

トピックス

国連生物多様性の10年「グリーンウェイブ 2019」 実施結果が発表されました

農林水産省、国土交通省、環境省及び国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J) では、生物多様性に関する理解が社会に浸透するように、植樹等をきっかけとした生物多様性の広報、教育、普及啓発を推進するため、今年3月1日から6月15日までの期間を国連生物多様性の10年「グリーンウェイブ 2019」として、広く活動への参加を呼びかけましたが、去る11月22日にその実施結果が発表されました。結果の概要は右の表の通りとなっており、詳細は林野庁ホームページからご確認ください。

http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/sanson_ryokka/191122.html

また、私たち SEF もこの趣旨に賛同し、特別賛助会員企業のワタミ(株)との連名で、参加団体として登録・活動を実施しました。その詳細は下記「グリーンウェイブ 2019」ホームページに掲載されていますので、ぜひご覧ください。

<https://greenwave.undb.jp/event/detail.php?id=41>

参加団体

(グリーンウェイブ活動を計画及び実施した、または植樹等の行事に参加した団体)

延べ **393** 団体

協力団体

(苗木・場所の提供や技術指導等を実施した団体)

延べ **102** 団体

植樹等の活動に参加した人数

約 **20,300** 人

植樹した本数

約 **18,400** 本

SEF でご提供している“資源管理適正化支援システム「SEF-Net」”は、廃棄物の適正処理が円滑に行われ、再資源化促進への意欲を高めて頂くことを目的としたクラウドサービスです。

排出事業者の廃棄物管理業務の効率を高めるために、廃棄物管理に関わる全ての情報をデータ化します。そして、日常業務管理からコンプライアンス・リスク管理、事業者間のコミュニケーションに至るまで、廃棄物・資源物に関するあらゆる業務をクラウド上で管理することが可能なシステムです。

一部の事業者において義務化が予定される“電子マニフェスト”も、この SEF-Net を活用して運用管理することが可能です。

「インターフェイスの工夫による作業性向上」「複数個所での同時登録・修正が可能」「予約登録の件数の制限なし」など、電子マニフェストを運用管理するうえでのメリットも満載です。

電子マニフェストの導入支援も合わせて行っていますので、まずはお気軽に事務局 (TEL:03 - 5737 - 2744) までお問い合わせください。

詳しいご案内は SEF-Net ホームページをご覧ください。

<https://save-earth.or.jp/sef-net/>



SEFからの
おしらせ

「ゼロエミッション研究会」第 4 回勉強会を
1 月 23 日(木)に開催します

参加者募集中

2017 年度、SEF では排出事業者主体による廃棄物・資源循環に関する課題の解決をめざし、「ゼロエミッション研究会」と題して 10 回の勉強会と 1 回の見学会を開催しました。その中で参加者の皆様からは、机上だけではなく実践的な取り組みを希望するお声を多く頂戴しました。また、先般新たに公表された食リ法基本方針では、外食産業における取組の促進が課題として挙げられています。そこで、本年度のゼロエミッション研究会では、外食事業者の皆様を対象に、持続可能な食品リサイクルループの構築に関する知識やノウハウを学びながら、実際に再生利用事業計画の認定を受けて食品リサイクルループを開始することをゴールとした取り組みを企画し、4 月、6 月、8 月に勉強会を、そして 10 月に現地見学会を開催してきました。今期の取組地域は愛知県名古屋市を予定しており、名古屋市に店舗を構える外食事業者の方が対象ですが、勉強会には対象以外の方でもご参加いただけます。第 4 回勉強会からのご参加も大歓迎。ご参加をご検討、ご希望の方には過去の勉強会資料と議事録をお持ちし、ご説明に上がりますので、お気軽にご連絡ください。

内容の詳細、お申込みは SEF ホームページ下記リンクをご確認ください。

<https://save-earth.or.jp/archives/6254>



チラシ画像をクリックすると
PDF ファイルでダウンロード
いただけます

森林再生事業 活動報告

活動報告(体験イベント) ～日向の森(千葉県山武市)～

昨年5月の開催から大好評をいただいている「6歳になったら机を作ろう!」。11月3日(土)に通算4回目となる本イベントを開催しました。当日は残念ながら小雨模様となりましたが、2組のご家族にご参加いただき、3台の机をつくりました。

まずは日向の森に集し、開成式で自己紹介を行ったあと、サンブスギの人工林に入りました。千葉県森林組合のスタッフに指導をいただき、子どもたちが交代しながらスギに切り込みを入れ、最後はみんなでロープを引いて、力を合わせて1本のスギを倒しました。普段できない経験に子どもたちは興奮気味でしたが、切り倒す直前まで木は生きていたこと、机を大切にすることが木の命を大切にすることにつながることを伝えると、真剣な表情で耳を傾けてくれました。



昼食の後、いよいよメインイベントの机づくりをスタート。ご両親と一緒に、接着、切断、穴開け、ビス止め、やすり掛けなど、工程を一つずつ体験しながら、サンブスギ100%の学習机を完成させました。約2時間で自分だけの机が完成。

皆さん大満足のご様子でした。この企画は来年も実施を予定しています。今回予定が合わずご参加頂けなかった皆様も、ぜひご期待ください!

森林再生事業 活動報告

台風被害状況・活動報告(体験イベント) ～長野県東御市「東御の森」～



千曲川流域は台風19号により甚大な被害が発生しました。「東御の森」の中央を流れる所沢川は千曲川上流部にあたります。湯の丸高原に大量の降雨があったため急激に増水、河畔は削られて石や土砂が堆積し、多数の倒木も発生しました。台風通過の1週間後に様子を確認しましたが、幸いにも森全体は土砂崩れもなく、河畔から離れるとあちらこちらに水が滲みでている程度で、ほとんど変わりがありませんでした。土壌が水をたっぷり含んでいることは靴底を通して感じられ、降った雨水が一気に里へと流れ出ないように、森が精一杯頑張ってくれたことを実感しました。

東御市内では千曲川に架かる数か所の橋が崩落、今なお日常生活への影響が続いています。1日も早い復旧をお祈り申し上げます。

10月20日の森林環境イベントは、台風の影響で急遽会場を東御市中央公民館に変更して実施しました。自然環境調査で記録用に撮影しているスライド写真を見ながら子ども達と野鳥の名前を調べたり、調査員が持参した専門書を紹介、最後に森から採取してきた木の実を観察しました。東御市農林課職員からは、台風による被害状況や対応についての報告がありました。



※この企画は公益社団法人国土緑化推進機構の「緑と水の森林ファンド」助成事業です。

12月・1月 森林保全活動 のお知らせ ボランティア 募集中!



SEFでは、各地域での森林保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを随時募集しています。

千葉県山武市では原則として毎月第2・第4土曜日（東京駅から送迎いたします！）に定例活動を行っているほか、兵庫県丹波市、大分県臼杵市でも定期的にも実施しています。直近の活動は下記を予定していますので、ぜひご参加ください。



<12月・1月の活動予定>

千葉県山武市

12月21日(土)

1月11日(土)、1月25日(土)

兵庫県丹波市

12月21日(土)、1月19日(日)

※日程は変更となる可能性があります。

最新の情報はホームページを参照ください。 <https://goo.gl/uEt3CZ>

企業・団体向け 森林体験プログラム 「森活」のご案内

Let's do Morikatsu together!



SEFがご提案する「森活」とは、「森を活かす」こと。

“森”での“活”動を通して、社会貢献活動の一環としての取組みに、またチームの関係性の基盤づくりや強化に、さらにはリラックス・リフレッシュのための福利厚生など、様々な効果につなげることができると考えています。

フィールドとしてご用意するのは日向の森（千葉県山武市）。都心からおよそ90分の好アクセスで、企業・団体の皆様の「森活」をお手伝いします。

皆様のご要望に応じたメニューをご提案しますので、まずはお気軽に事務局までお問い合わせください。

「森活」ってどんなことをするの？

季節に応じて、様々なプログラムをご用意しています。



植樹



下草刈り



間伐



ツル切り・枝打ち



薪割り



森林散策



クラフト

